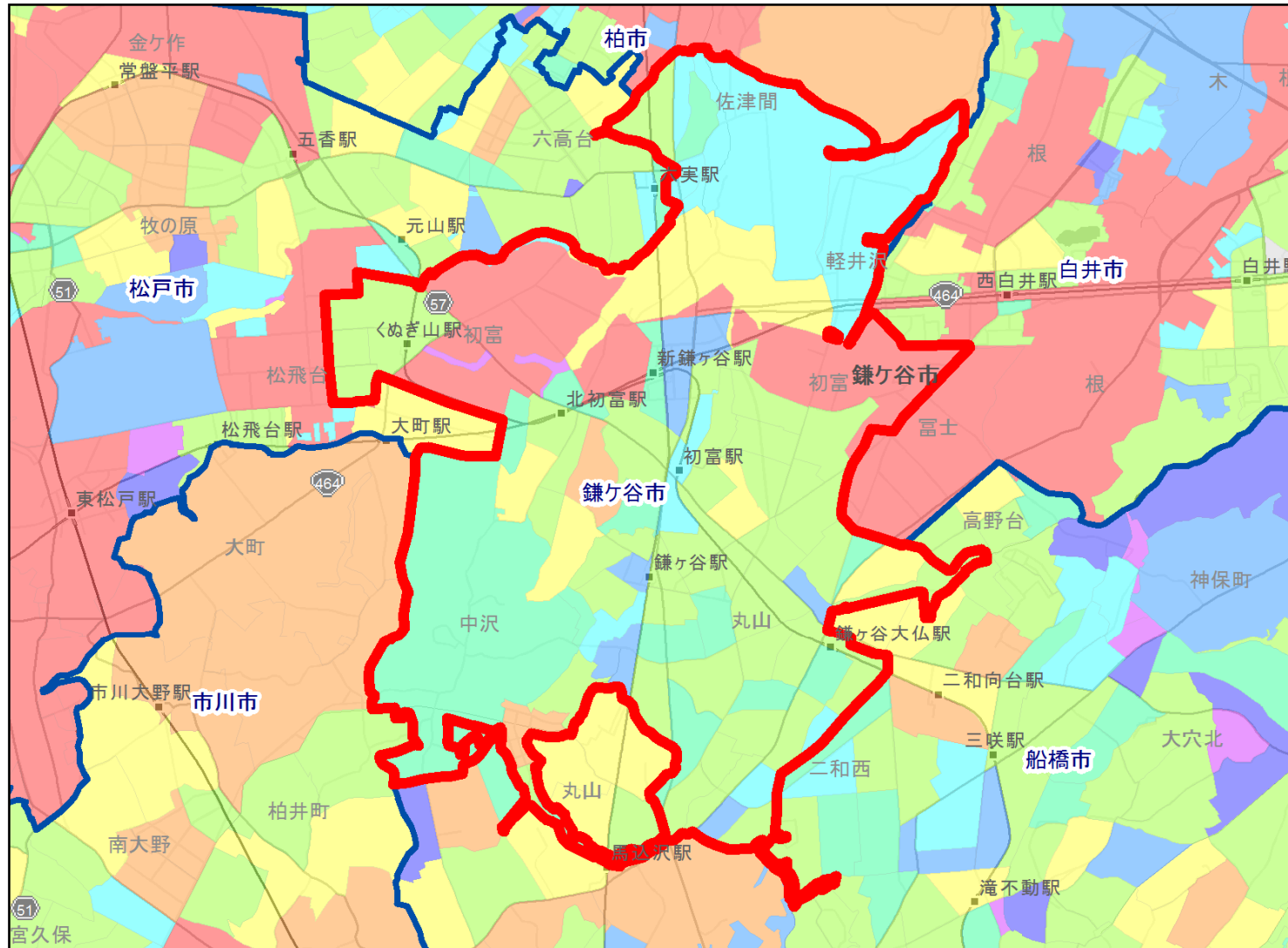


1. 商圈地図_鎌ヶ谷市



凡例

- ▭ 鎌ヶ谷市
- ▭ 市区町村界地図

H22国勢調査(町丁字等別集計)
人口総数

0
1 - 99
100 - 249
250 - 499
500 - 749
750 - 999
1,000 - 1,999
2,000 - 2,999
3,000 - 4,999
5,000 - 99,999

0 1 2 km

1. 商圈特性データ

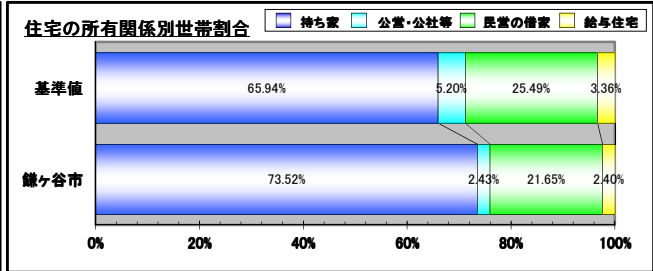
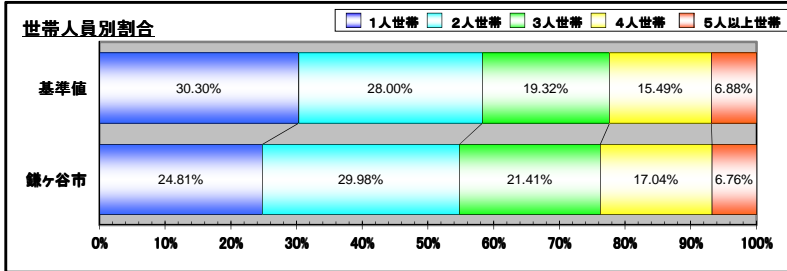
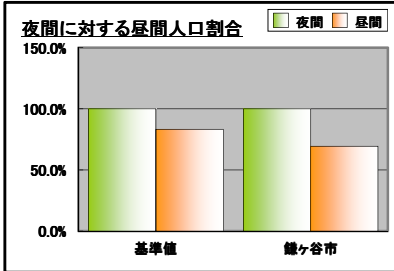
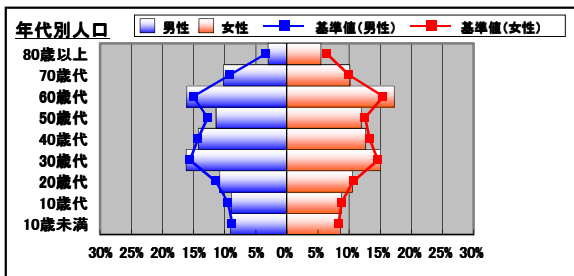
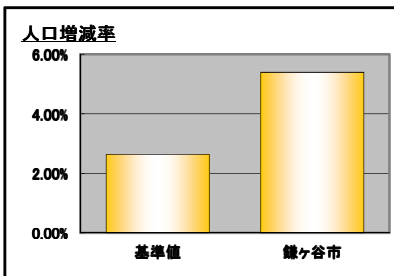
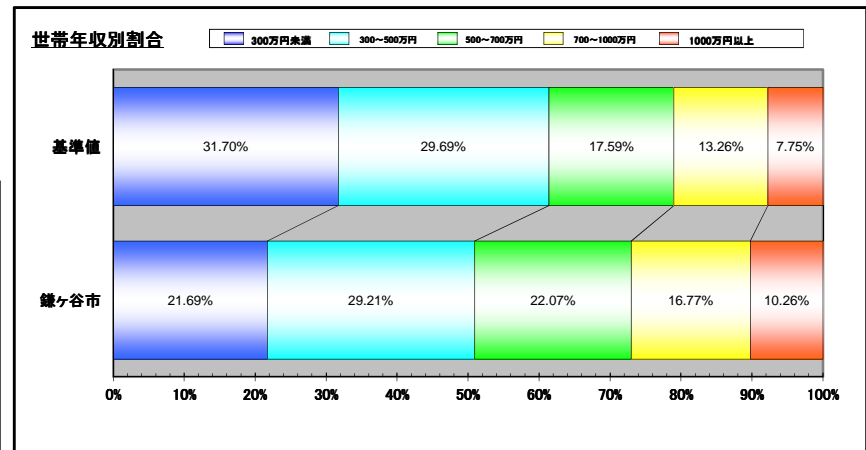
商圈	人口総数			年代別人口								人口増減数 (H17-H22)	昼間人口	
	総数	男	女	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代			80歳以上
基準値 (千葉県)	6,216,289	3,098,139	3,118,150	523,603 (8.54%)	559,451 (9.13%)	677,057 (11.05%)	923,992 (15.08%)	843,724 (13.77%)	775,561 (12.65%)	934,677 (15.25%)	587,935 (9.59%)	302,826 (4.94%)	159,827 (2.64%)	5,174,525 (83.24%)
1次商圈 鎌ヶ谷市	112,987	55,885	57,102	9,901 (8.81%)	9,938 (8.84%)	11,948 (10.63%)	17,510 (15.58%)	15,067 (13.41%)	13,107 (11.66%)	18,745 (16.68%)	11,385 (10.13%)	4,786 (4.26%)	5,789 (5.40%)	78,454 (69.44%)

商圈	世帯数					住宅の所有関係別世帯数				住宅の建て方別世帯数			
	総数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上	持ち家世帯	公営・公社等	民営の借家	給与住宅	一戸建て	長屋建て	共同住宅
基準値 (千葉県)	2,512,441	761,231 (30.30%)	703,490 (28.00%)	485,529 (19.32%)	389,270 (15.49%)	172,921 (6.88%)	1,607,089 (65.94%)	126,793 (5.20%)	621,204 (25.49%)	81,991 (3.36%)	1,323,002 (54.36%)	39,835 (1.64%)	1,070,984 (44.00%)
鎌ヶ谷市	43,846	10,880 (24.81%)	13,147 (29.98%)	9,387 (21.41%)	7,470 (17.04%)	2,962 (6.76%)	31,685 (73.52%)	1,046 (2.43%)	9,333 (21.65%)	1,035 (2.40%)	28,306 (65.10%)	647 (1.49%)	14,525 (33.41%)

商圈	世帯年収					
	総数	300万円未満	300~500万円	500~700万円	700~1000万円	1000万円以上
基準値 (千葉県)	2,512,441	796,504 (31.70%)	745,936 (29.69%)	441,963 (17.59%)	333,215 (13.26%)	194,824 (7.75%)
鎌ヶ谷市	21,305 ※	4,621 (21.69%)	6,224 (29.21%)	4,702 (22.07%)	3,572 (16.77%)	2,187 (10.26%)

※年収はH25年取別推計世帯数より算出。

★各割合の赤字は基準値を上回っている、青字は下回っている事を示します。



2. ポイントまとめ 鎌ヶ谷市

1、全体特性を一言で表すと……

裕福な若い子育て世代が多いエリア

2、データ分析

1)年代

10歳未満、30歳代、60歳代、70歳代が基準値より多い。10歳代、20歳代、40歳代、50歳代、80歳以上は基準値以下。
→若い子育て世代が多い。

2)昼間人口

基準値より13.80%低い。
→鎌ヶ谷市エリアに通勤・通学している方が少ない。

3)持ち家？賃貸？

持ち家世帯が基準値より7.58%高い。
→持ち家に住む世帯が多い。

4)住宅の建て方

一戸建て世帯が基準値より10.74%高い。
→一戸建て世帯が多い。

5)世帯年収

世帯年収500～700万円、700～1,000万円、1,000万円以上が基準値より多い。300万円未満、300～500万円は基準値以下。
→裕福な家庭が多い。

3、まとめ

裕福な若い子育て世代が多いです。人口増減数も5.40%増で、基準値より2.76%も高いので、新しく市内に越してきたニューファミリーが多く集まるエリアとされます。店舗にキッズスペースを設けたり、小さい子供が楽しめるサービスの告知に向いている可能性があります。